

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	【学習上の課題】資料、データ、説明文等の内容理解について、知識・技能の習得における差が見られる。 【指導上の課題】資料や物語等で日常生活に結びついた資料を用いたり、個に応じて知識・技能の習得を図ったり、話し合い活動を通して知識の定着を図っていく等の指導に工夫が必要である。	⇒ 【学力向上策】①ICT等を用いて資料やデータ等の具体物を提示し、個に応じて自身の知識を深める時間を設定。②ドリルパークやスタディサプリ等を活用した、知識・技能の習得。③生徒が主体的に学ぶ時間の設定【通年】 【評価方法】R7年度さいたま市学習状況調査の質問項目「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の2項目において、肯定的な回答の割合が90%以上
思考・判断・表現	【学習上の課題】知識や内容を相手にわかるように伝える表現力や、相手に説明する際に根拠となる部分を引用したり、他者の考えと比較したりしながら、相手にわかりやすく伝えることに課題がある。 【指導上の課題】説明文、資料やグラフ等の特徴や傾向を捉えて、言葉やデータを用いて相手に表現する場面設定と指導に工夫が必要である。	⇒ 【学力向上策】①ICT等を用いて個々の生徒の習熟度に応じた発展的な学習環境の設定。②理解した内容を相手に説明する等の協働的な学びの場面の設定。【通年】 【評価方法】R7年度さいたま市学習状況調査の質問項目「授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていていると思いますか。」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の2項目において、肯定的な回答の割合が90%以上

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価

A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)